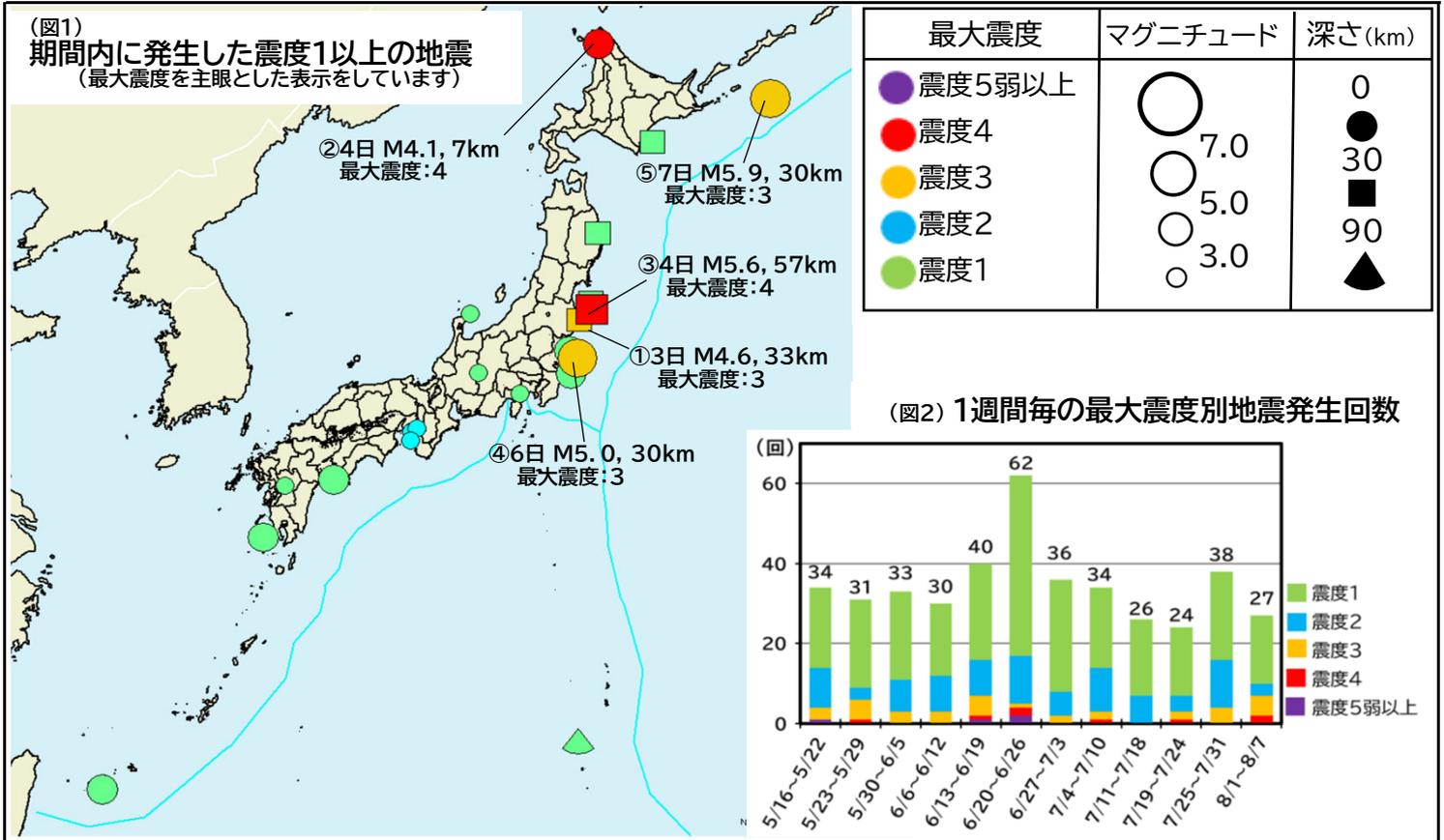


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

■ この期間、震度1以上の地震が27回発生。最大震度は4。■

- ①3日08時47分に福島県沖で発生した地震(M4.6、深さ33km)により、福島県で震度3を観測したほか、東北地方及び関東地方で震度2~1を観測。この地震は陸のプレート内で発生した正断層型。
- ②4日01時41分に宗谷地方北部で発生した地震(M4.1、深さ7km)により、北海道幌延町で震度4を観測したほか、北海道で震度3~1を観測。この地震は地殻内で発生。同日中にほぼ同じ場所で発生した M3.5 及び M2.9の地震により、ともに北海道幌延町で震度3を観測(トピックス参照)。
- ③4日09時48分に福島県沖で発生した地震(M5.6、深さ57km)により、宮城県及び福島県で震度4を観測したほか、東北地方、関東地方及び新潟県で震度3~1を観測。この地震は太平洋プレート内部で発生した逆断層型。
- ④6日21時23分に茨城県沖で発生した地震(M5.0、深さ30km)により、茨城県ひたちなか市と東海村で震度3を観測したほか、宮城県から千葉県、東京都にかけて震度2~1を観測。
- ⑤7日22時41分に北海道東方沖で発生した地震(M5.9、深さ30km:速報値)により、北海道根室市・浜中町など北海道東部で震度3を観測したほか、北海道を中心に東北地方から埼玉県にかけて震度2~1を観測。

トピックス

■ 北海道北部の地震 ■

- ・4日に北海道北部の幌延町(稚内市の南50km付近)で最大震度4を観測する地震が発生し、同日、ほぼ同じ所で最大震度3が2回、最大震度1が2回発生しました。この北海道北部の地震活動について調べて見ました(図3)。
- ・1919年以降で、この付近で発生した最大Mは、1932(S7)年02月01日に発生したM5.6、最大震度3(羽幌町で震度3、旭川市で震度1:気象官署のみが震度観測を行っていた時代で、今の観測網であれば、最大震度は、もっと大きな震度であったろうと想像される)。
- ・内陸で発生した地震の場合、近くにある活断層が話題となりますが、地震は知られている活断層の近くでのみ発生する訳ではありません。日本の陸域には約2,000の活断層があるとされていますが、このうち存在が公表されているのは、活動度や活動した際の社会への影響度等を考慮して調査が進んでいる114の活断層のみです。裏を返せば公表されていない活断層は数多くあることになります。
- ・内陸で発生する地震は、震源の深さが浅いため、小さなMでも大きな震度になることがあります。
- ・国内どこでも被害を伴う地震が発生する可能性があります。活断層の有無よりも事前の対策が被害を少なくします。

